

科学研究費補助金（特別推進研究）研究進捗評価結果

課題番号	19002003	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	光子ビームによるクォーク核物理の研究		
研究代表者名 (所属・職)	清水 肇（東北大学・電子光物理学研究センター・教授）		

【平成22年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
（評価意見）		
<p>多くの種類のγ線検出器を組み合わせた FOREST 検出器を製作し、東北大学のγ線ビームを用いて N(1670)を中心とするバリオン共鳴の研究と、ペンタクォークとしての同定のための実験を行い、これまでにない高品質で大量のデータを得ている。既にデータ解析に入っており、順調に研究が進展していると評価する。今後のデータ解析からの研究結果に期待したい。より高性能の検出器である BGOegg の建設は、当初計画より多少の遅れはあるが、研究期間内に完成することは十分期待できる。</p>		